

2021 年度

事業報告書

(自 2021 年 9 月 1 日 至 2022 年 8 月 31 日)

公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン

## 目 次

### ●事業報告

#### I. ウィッシュ事業（公益目的事業）

1. 夢の実現
2. 広報活動
3. 会員増加及び寄付金募集活動
4. ボランティアの養成と支援

#### II. チャリティー事業（収益事業）

#### III. 物品販売事業（収益事業）

#### IV. 不動産賃借事業（収益事業）

#### V. 法人管理

## ●事業報告

### I. ウィッシュ事業（公益目的事業）

ウィッシュ事業は、「難病の子どもたちの夢をかなえるお手伝いをする」活動全般そのもので、当団体の中核事業です。

難病の一次定義は「命にかかわる病気・病状」であり、具体的な病名は当団体の定める病名リストに基づきます。ウィッシュチャイルドの病状が「難病」の対象になるかのどうかの最終判断は、子どもたちの主治医が医学的見地から認定しております。小児がんなど、当団体の設立当時には不治の病といわれた病気も、医療技術の飛躍的な進歩により、今やその8割を超える患儿が小児がんを克服できるようになりました。しかしながら、今なお多くの子どもたちが難病との闘いを余儀なくされています。

メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンでは、対象となる全ての子どもたちに夢をかなえる機会を持ってもらうべく、ウィッシュ事業を進めてまいりました。しかしながら、2020年3月から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2021年度も前年度に続き、通常のウィッシュ事業を進めることが困難な状況が続きました。

#### 1. 夢の実現

2021年度には、139名の子どもたちの夢をかなえることができました（2020年度に夢を実現した子どもは126名）。実現した夢を、担当した支部・夢の種類で分類すると以下ようになります。

支部別夢の実現数

	2020年度
東京本部	54
札幌支部	7
仙台支部	6
名古屋支部	28
関西支部	19
広島支部	9
福岡支部	16
合計	139

## タイプ別 夢の実現数

( ) 内訳

行きたい	33 人
国内旅行	(30)
海外旅行	(0)
その他	(3)
なりたい	13 人
会いたい	12 人
有名人	(12)
その他	(0)
欲しい	68 人
おもちゃ	(18)
電気製品 (PC、ゲーム等)	(23)
動物	(6)
パーティ	(1)
その他	(20)
その他	13 人
合計	139 人

夢の実現一件あたりの直接事業費用は 280,000 円で、2019 年度の 230,000 円よりも若干増加しました。これは、外出を伴うウィッシュの際、感染症対策を万全とした結果に因るものです。

## 2. 広報活動

当団体やその活動についての認知を高めるべく、広報活動を積極的に展開してまいりました。全国各地での講演活動に加え、Home Page、Facebook、Instagram などのソーシャルネットワークでの情報発信も推進してまいりました。

加えて、毎年発行している機関誌 News Flash の紙面を、より魅力的なものとし、また、Home Page 上からも閲覧できるようにいたしました。

### 3. 会員増加及び寄付金募集活動

当団体にとっての最大の収益源は寄附金収入です。より多くの個人や企業の皆様に財政的支援をいただくべく、様々なイベントや SNS を通じた啓蒙活動を展開してまいりました。

加えて、より寄付をしていただきやすい環境整備に取り組みました。具体的には、支援会員制度の見直し、ネットからの寄付の仕組みの改善、提携クレジットカードの会員拡大等を進めてまいりました。

また、昨年度に引き続き、当団体の親団体である Make-A-Wish International と連携し、APAC 地区で他国の支部と協力して寄附金募集を行うことも進めてまいりました。その結果、2021 年度の会費と寄附金を合わせた収益は 107,965 千円となりました。

### 4. ボランティア養成と支援

夢の実現はボランティアによって支えられています。ウィッシュの実現に直接係わるボランティアの養成を目的としたボランティアトレーニング、および更にきめ細かにボランティアの活動を支援するためのフォローアップトレーニングを、2021 年度は東京本部、各支部においてオンラインにて開催いたしました。

また、情報共有とボランティアとの交流を主な目的として、東京本部および各支部ではボランティア定例会をオンラインにて開催しました。

## II. チャリティー事業（収益事業）

当財団の活動をより多くの人に知っていただき、ご支援をいただきたい。そのような想いで、様々なチャリティーイベントを全国各地で開催してまいりました。

しかしながら、2020 年 3 月以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2021 年度も主要イベントを中止せざるを得ない状況が続き、コンサート、寄席、ラン&ウォークなど、オンラインでのイベント開催となりました。

また、チャリティー事業全体での収益は 3,325 千円となりました。

### Ⅲ. 物品販売事業（収益事業）

当団体では自主出版の書籍やオリジナルグッズを作成し販売しています。2020年3月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2021年度もイベントの中止が相次ぎ、物品販売の機会も失われました。そのため、物品販売事業での収益は、前年度とほぼ同水準で2,984千円となりました。

### Ⅳ. 不動産賃貸業（収益事業）

当財団は2010年に支援者より遺贈を受けた不動産（アパート）を東京都渋谷区西原に保有しておりましたが、2019年4月に売却し、2019年7月に東京都千代田区九段南に新たに賃貸用不動産(ビル)を購入しました。今後、当ビル4Fに東京本部事務局を移転する予定です。

今後も不動産賃貸事業を継続し、管理業務は、日本総合コミュニティーサービス株式会社（ビル管理）・株式会社パルポートワン（賃貸管理）に委託しております。

### Ⅴ. 法人管理

2021年度は以下の重点課題に取り組み、成果を出すことができました。

- ・支援会員制度の見直し、ネットからの寄付の仕組みの改善、提携クレジットカードの会員拡大等を進めた
- ・機関誌 News Flash の紙面の内容をさらに充実させ、Home Page から閲覧できるようにしたことで、新たな支援者を獲得することができた
- ・メイク・ア・ウィッシュの国際組織 Make-A-Wish International と連携して、APAC 地域でのファンレイジングに協力して取り組んだ
- ・コロナ禍においてもウィッシュ事業・チャリティー事業が滞ることなく、しっかり運営できるよう、オンラインシステムを積極的に利用し、業務をおこなった

以上